

令和 2 年

衣浦衛生組合第 2 回臨時会会議録

令和 2 年 5 月 1 日

令和2年第2回衣浦衛生組合議会臨時会会議録

令和2年第2回衣浦衛生組合議会臨時会は、令和2年5月1日（金）午後1時00分衣浦衛生組合会議室に招集された。

1. 議事日程

- 管理者の招集あいさつ
- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期の決定
- 第3 議案第3号 火災に伴うクリーンセンター衣浦復旧工事の変更請負契約締結について

2. 本日の会議に付した事件

- (1) 議事日程第1から第3

3. 議員

定数 10名 欠員 なし

出席議員（9名）

- | | | | |
|-----|--------|----|--------|
| 1番 | 小林 晃三君 | 2番 | 山口 春美君 |
| 3番 | 神谷 悟君 | 4番 | 新美 交陽君 |
| 6番 | 神谷 直子君 | 7番 | 岡田 公作君 |
| 8番 | 鈴木 勝彦君 | 9番 | 今原ゆかり君 |
| 10番 | 内藤とし子君 | | |

欠席議員（1名）

- 5番 杓名 宏君

4. 説明のため出席した者

- | | | | |
|------|--------|------|--------|
| 管理者 | 吉岡 初浩君 | 副管理者 | 松井 高善君 |
| 副管理者 | 神谷 坂敏君 | 参与 | 禰亘田政信君 |
| 事務局長 | 岡崎 康浩君 | 庶務課長 | 高橋 文彦君 |
| 施設課長 | 杉浦 勲君 | 業務課長 | 杉浦 嘉彦君 |

5. 出席した関係市職員

- | | |
|-----------------|--------|
| 碧南市経済環境部長 | 永坂 智徳君 |
| 碧南市環境課長 | 金原 厚夫君 |
| 高浜市市民部長 | 磯村 和志君 |
| 高浜市経済環境グループリーダー | 田中 秀彦君 |
| 高浜市経済環境グループ主幹 | 東条 光穂君 |

6. 出席した事務局職員

庶務課庶務係長	奥谷 元典君
施設課課長補佐	三矢 成由君
施設課課長補佐	糟谷 勲君
施設課第1係長	磯貝 光好君
業務課管理係長	安藤 理純君
業務課焼却係長	石川 武彦君
業務課管理係担当係長	磯村恒代志君

7. 会議の経過

(午後1時00分開会)

○議長（鈴木勝彦君） 皆さん、こんにちは。本日はご多忙のところ、ご出席いただきまして、ありがとうございました。

ただいまの出席議員は9名であります。よって、令和2年第2回衣浦衛生組合議会臨時会は成立いたしました。よって、会議を開会いたします。

これより会議に入ります。

本日の議事日程は、お手元に配付の議事日程表のとおりであります。

○議長（鈴木勝彦君） これより、管理者の招集挨拶を行います。

○管理者（吉岡初浩君） 議長、管理者。

○議長（鈴木勝彦君） 管理者。

○管理者（吉岡初浩君） 皆さん、こんにちは。この議会より管理者を務めさせていただいております高浜市の吉岡でございます。よろしく願いいたします。開会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

風薫る5月というよりも初夏の5月になりました。本日、ここに令和2年第2回衣浦衛生組合議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位の御参加をいただきまして本臨時会が成立いたしましたことに厚くお礼申し上げます。また、日頃当組合の事業に多大なる御尽力を賜りまして、重ねてお礼を申し上げる次第でございます。

また、現在コロナウイルスの蔓延により、本日議会におきましても、マスクの着用など御理解いただいていることに感謝申し上げます。一人一人が感染拡大を食い止める努力を私共もしていまいたいというふうに思っております。

さて、本日は私共のほうから、変更請負契約締結議案1件を上程させていただいておりますが、何とぞ慎重に御審議の上、原案どおり御可決賜りますようお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。

○議長（鈴木勝彦君） ただいま、招集挨拶が終わりました。

○議長（鈴木勝彦君） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第36条の規定により、議長において、1番 小林晃三議員及び7番 岡田公作議員を指名いたします。

○議長（鈴木勝彦君） 日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。今期臨時会の会期は本日1日間といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（鈴木勝彦君） 御異議なしと認めます。よって、会期は本日1日間と決定いたしました。

○議長（鈴木勝彦君） 日程第3 議案第3号 火災に伴うクリーンセンター衣浦復旧工事の変更請負契約締結についてを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

○事務局長（岡崎康浩君） 議長、事務局長。

○議長（鈴木勝彦君） 事務局長。

○事務局長（岡崎康浩君） ただいま議題となりました議案第3号火災に伴うクリーンセンター衣浦復旧工事の変更請負契約締結について、提案理由の説明を申し上げます。

令和元年12月26日に議会の議決を得た請負契約について、下記のとおり変更契約を締結するため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第96条第1項第5号及び衣浦衛生組合議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例（昭和41年衣浦衛生組合条例第3号）第2条の規定により、議会の議決を求めるというものでございます。

便宜参考資料にて、説明させていただきますので、参考資料1を御覧ください。

2の契約の金額は、変更前9億9,000万円。変更後、10億1,681万8,000円で、2,681万8,000円の増額となるものです。変更後は現契約より増額とはなりますが、当初予算10億3,950万円を超えるものではありませんので、これによる増額補正は予定しておりません。

3の契約の工期ですが、変更前の令和元年12月27日から令和2年7月31日までとしていたものを令和2年8月31日までに変更をさせていただきます。

4の変更理由としましては、火害調査結果による建築補修工事の設計変更9,460万円の減額及び再発防止工事の追加1億2,141万8,000円の増額によります金額及び工期の変更を行うというものでございます。

5の主な変更箇所につきましては、参考資料2のフロー図を御覧いただきたいと思います。

再発防止工事といたしまして、図中黄色の網かけ○番号でお示しをしておりますけれども、①の炎検知設備は、紫外線方式の炎検知器を設置し、コンベヤ内の炎を監視し発火を初期段階で検知するもので、こちらは4台設置をいたします。②の温度検知設備はサーモカメラを設置し、コンベヤ内の温度を監視し、発火を初期の段階で検知するもので、こちらは1台を設置します。③のITV設備は監視カメラを設置し、コンベヤ内をモニター監視し、発火を初期段階で検知するもので2台を更新してまいります。④の消火散水設備は、各コンベヤに散水ノズルを設置すると共に、消火用水槽及び消火散水用ポンプを設置するものです。散水ノズルにつきましては、60箇所に設置をしております。⑤の発火物の取り出しは、コンベヤ内の発火物をコンベヤ外に取り出し、延焼を防止するものでございます。

その他の対策といたしましては、⑥の電気ケーブルの延焼防止及び⑦の電気室の煤対策を講じてまいります。

以上で提案理由の説明とさせていただきます。

よろしく願いいたします。

○議長（鈴木勝彦君） 提案理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

○10番（内藤とし子君） 議長、10番。

○議長（鈴木勝彦君） 10番 内藤議員。

○10番（内藤とし子君） 今、炎の検知設備4台と言われましたが、ここでは2台しか付いてないんですが、これはどういうことか。あと消火設備があるというお話ですが、どれぐらいの大きさなのか、また火災がなければ、必要がないわけで水は入れたままということだと思のですが、水は入れたままだと腐ってしまいますが、それはどのようになる予定なのか。この5番の発火物の逆転というのが少し分からないので、もう少し詳しく説明をしていただきたいと思います。

○議長（鈴木勝彦君） 質疑でよろしいですか。それでは答弁よろしく申し上げます。

○業務局長（杉浦嘉彦君） 議長、業務課長。

○議長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 初めに①の炎検知器が2台ではないかということでございますけれども、炎検知設備につきましては、可燃と不燃の破碎機の下のコンベヤ内にそれぞれ2台ずつ合計4台を設置するものでございます。

それから、④の消火散水設備の大きさでございまして、20立米の消火水槽を設置する予定でございまして、それから水は入っているかということですが、これについては、常時水は入れております。消火のために必要でございまして、腐らないかというご質問なんですけれども、基本的には点検もしますので、水槽の水は入替えたりすることはございます。ただ水道水を入れますので、点検までに腐るといったことはないと考えております。

それから、⑤の発火物の逆転についてということでございまして、発火物の取り出しは2台のコンベヤナンバー1とナンバー4について、現場にて手動で逆転を行えるように改造をしまして、発火物をコンベヤの外へ取り出して延焼を防止するというものでございます。

○議長（鈴木勝彦君） ほかにありませんか。

○10番（内藤とし子君） 議長、10番。

○議長（鈴木勝彦君） 10番 内藤議員。

○10番（内藤とし子君） 今点検をするからというお話でしたが、この点検というのはある程度決まった頃に点検するのか、ちょっとその当たりがはっきりしないので、その点をお示しいただきたいと思います。

○業務局長（杉浦嘉彦君） 議長、業務課長。

○議長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 水槽の点検につきましては、年に一度は水槽の点検のほうをしてい

くことはいたします。それから、日常点検の中でこの水槽の周り、水槽の横にポンプもございまずので、日常点検の中においても、そういった点検のほうはしてまいります。

○議長（鈴木勝彦君） ほかにありませんか。

○2番（山口春美君） 議長、2番。

○議長（鈴木勝彦君） 2番 山口議員。

○2番（山口春美君） 昨年の12月に入札して、ここで忘れもしませんが、待っていて5分ぐらいで随意契約で締結したわけで、あれから約半年近く経っているんですが、何をこの間やってきたのか、私たちはその時まで再発防止策は後だということと言われたんですけども、当然その最低限度の再発防止はあった上でのことで、それがオンされたもので発注されて、ざっと10億だということだと思っていたのですが、先ほど9,000万減った内訳も言われませんでしたので、その時に十分に精査して随契でやるわけですから、予定価格等算出されていけば、約1億もの格差は出てこないというふうに思うんですけども、何でそこら辺が9,000万の落差が出てしまったのか。それから、先ほど聞いたところによると、I T Vの設備は2台更新するので、もともと6台を6台にするということで、新たに設置するものはこの中にあるんですか。逆転だって今まで説明を受けていたけれども、逆転したけれども取れなかったということで、当然逆転する操作はできる構造になっていたと思うのですが、30年前ということもあるので、その間、どれだけ進展しているのかわからないですけど、全部オリジナルだから、あの個別の既製品をはめるわけではないので、あれなんですけれども、新たに造り変えるということはわざわざその旧態のものを復帰させるわけではないので、今どきの30年後の最新の設備を兼ね備えた物というふうに私たちは思うのですが、これら全部今まで説明されてきた中に、機能が強弱あるにしろ、全部設定されていたものじゃないのですか。そこは何でこう1億2,000万の追加が出てくるんですが、そんなこと10億の中に込々じゃないのかなと普通は思うわね。私がもしこういう工事を発注するなら、これついていたものじゃないですかと。それで新品更新するなら、全部それを自動巻きで更新できるんでしょうと、10億で全て終わりというふうになるのじゃないかというふうに、素人考えではそう思いますか、違いますか。

それと水槽ですけれども、20トンという大きさ的には四角なのか丸なのか知らないけれども、どこにそのスペースが、これは全くまっさら、今は全然なくてそれを新たに設置するんでしょう、消火ポンプも。どこにそれを設置していくのか、スペース的には見させてもらったところだと本当に狭いところで、人も入れないような状況の中でどこにそんなスペースがあるのかと思うのですが、とにかくこの業者さんも日進月歩でいろいろ施設は更新してみえると思うので、もちろん30年前の物を復帰するだけではなくて、最新版の物を私たちは発注したというふうに思っているんですけども、それはどこでも防火水槽も付いているし、それから防火ポンプも付いているんですか。よそは。いろいろなやり方があるとは思っただけけれども。

ちょっとこの30年前の家をそのまま造りますと、10億でしたと。だけどやっぱりそのままだ

と不十分なので、1億2,000万で追加工事をやりますというふうに言われて、調べてみたけれども、壁は直さなくてもよかった。なんてのもえらいずさんだなというふうに思いますけれども、その流れがたった5分で随契で急いでみえたとはいえ、あまりにも大きなお金を扱う割にはずさんだし、私たちこの説得力がないものだなどと、当然これらも付いているものと思っていましたけどね。その辺のところを。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 議長、業務課長。

○議長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） ちょっと順番が前後するかもしれませんが、水槽の20立米のスペースにつきましては、工場棟の北側の緑地部分に設置をいたしまして、外部になります。こちらのほうから、ポンプで圧送して先ほど説明がありましたノズルのほうに送るようなことをさせていただきます。それで20年前にこの設備があったかと申しますと、このノズルでコンベヤを水を撒くという、全体を撒くということは今回初めて行うものでございます。

今まで、当初の時にはなかったんですけれども、やはり破碎機のところで発火することが多いですので、その周辺に5箇所散水装置は既存では5箇所ございました。それを今回60箇所、コンベヤ全体に付けて散水をして延焼を防止するということをしてまいります。

それから、コンベヤの逆転につきましては、現在のコンベヤにつきましてはモーターの逆転という装置は付いておりませんので、今回そういったモーターを逆転するような制御装置と新規のモーターを付けるということになります。

それから、建築工事が9,460万円減った理由でございますけれども、これは今年1月から契約をしてからなんです、火害調査でコンクリートの躯体が火災によって、どれくらいの強度が落ちたかという調査をいたした結果で、9,460万円減ってきたということでございます。内訳をまず少し説明させていただきますと、コンクリートの圧縮強度、コンクリートの強度なんですけれども、これが500度以上の熱を受けますと、冷却後の残存強度の設計強度が低下してしまいます。設計強度以下になってしまいますと、大きな地震の時にそこから壊れてしまう可能性がございますので、当然、強度が落ちたところは新たに補強するというようなことを当初予定はしておりました。

それから、当初は火害調査の前に予算化しておりますので、コンクリートの亀裂ですとか、浮きですとかそういった目で見える部分で、この範囲でそういった補修が必要であろうということで予算は組ませていただきました。その時には想定させていただいたのが内訳で言いますと、スラブが8箇所、小梁が8箇所、大梁が5箇所の全面コンクリートの、コンクリートの強度がなくなったということで、全部をはつって、それから鉄筋自体も温度600度以上に加熱されますと、鉄筋の強度も落ちてしまいますので、その鉄筋自体も取換えるというようなことを想定しておりました。

これが火害調査をした結果、スラブの全面的な補強、コンクリートを打って、その上で炭素繊維

維を下から貼付けて補強するような工事は取止めた。それから、小梁、大梁の鉄筋を全て取替える、火であぶったところですけども、その部分の鉄筋は強度があったということで、取替えをしなくてもいいというようなことで9,460万円の減額となったものです。

それから、I T V設備につきましては、少し説明させていただきますと、監視カメラの映像をオペレーターがモニターで監視して目視にて火災を確認した場合に、オペレーターが新たに設置する集中監視装置により、手動でコンベヤの停止や散水などのスイッチの操作を行います。このI T Vカメラにつきましては、既存で10台ございましたけれども、このうちの2台が消失してしまいましたので、この消失の2台を更新するというものでございます。

○2番（山口春美君） 議長、2番。

○議長（鈴木勝彦君） 2番 山口議員。

○2番（山口春美君） これは半年間どういう流れで何をやってきたのか、そのいつの時点で9,000万が減り、いつの時点で増になったのか、それから議決は1,300万超えてないので、議決事項ということではやらないということですが、当然予算は触りますよね。それは実際にはどうなるんですか。全部起債でやっていたわね、たしか。起債を増額して終わりということにするんですか。予算は今回全然触ってないですけども、それから保険のほうもまだいまだわからないので、その全容がわからないんだけど、私たちはお金があるのかないかわからないけど、旦那さんの収入の中でやっているみたいな感じでお任せなんですけど、その予算はいじるの、いじらないの。6月時点で補正予算で変わってくるんですか。

あとその他で言えば、サンビレッジのお風呂も直すということで1,000万予備費を使うということもあるので、それらも含めて、専決専決でやっていかれると思うのだけれども、いつの時点で予算をどういうふうに変わっていくのか、この場で分かっていることがあるならもうちょっと予算の変化がね、もう4月からもう1カ月経っているわけですから、予算執行の状況なんかも含めて教えてほしいですが、ちょっと闇の中を探っているような議案ですよ、今回。本当に、私責任持てない、10億円もね。さっきも言って、いや調べてみたら9,000万も減ったとかいう、こんなずさんな契約内容なので、ちょっと信ぴょう性を疑うんですが、分かるように言ってください。

○業務局長（杉浦嘉彦君） 議長、業務課長。

○議長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 9,000万円の変更につきましては、建築の改修工事でございますけれども、これはコンクリートの圧縮強度ですとか、アルカリ性のどれくらい進んでいるかですとか、鉄筋の強度は実際にとってみて、引っ張ってみないと分かりませんので、これについては、1月以降調査した結果でこういう結果が出たということでございます。

それから、いつの時点でその変更がどうなったかということでございますけれども、4月の10日ぐらいに調査ですとか、そういう火災調査がまとまって、結果をどのように改修をしてい

くかというところの報告等が出てきましたので、それから予算化をさせていただいて、今回の議会のほうに諮らせていただいております。それから予算の議決の件でということでございますけれども、予定価格を1億5,000万を超えるものが議決が必要となりますので、先ほど局長のほうから説明がありましたとおり、予算全体では超えておりませんが、その議決をいただいた予算の中での変更があったということで、内容変更を今回議決をいただいて、今から再発防止の工事をしていくというものでございます。

○2番（山口春美君） 議長、2番。

○議長（鈴木勝彦君） 2番 山口議員。

○2番（山口春美君） その予算のところはよく分からない。今の話だと。今後の見通しですよ。補正予算でどこで直すでしょう。起債で100%やって、その分を2,000万増やすだけなの。2,600万増やすだけということになるんですか。9,000万こっちで減るので、ということでちょっとよくわからないのですが、このところと、それから、コンベヤは逆転をして火種が見えていたけれども、逆転したけれども取れなかったということだったよね、現場の状況は。それは手動でやったのであって、今回はそれが全部テレビ画面で見えたり、自動で逆転したりするようになるということで、例えばこれが100%、もうこれ以上ないという水準なのか、それとも値段との折り合いを付けて、今の最新設備より若干落ちる70%でいくとか、50%でいくのか、これは100%かね、私たち、信じていいの。これ今のレベルの最高レベルなんですか。再発防止策としては。

○業務局長（杉浦嘉彦君） 議長、業務課長。

○議長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 逆転につきましては、今まであった設備については、停止はできましたけれども、火を発見したらオペレーターが停止をするということではできましたけれども、モーターを逆転させるという制御装置は付いておりませんでしたので、今回議決をいただきましたら、そういった装置のほうを制御装置等を作っていくと、設置させていただくということでございます。

それから、最高の水準かということでございますけれども、これにつきましては、ちょっと山口議員がおっしゃった、どの水準でというところが結構難しい。どこを基準にこう考えるかというところはございますけれども、我々としましては、今回、例えば1つの例を挙げますと、散水装置でコンベヤ全体に水を撒くことによって、延焼防止をしましょうということを検討させていただいた中で、では消火剤ですとか、もっと水以外の物も検討できるのではないかとということで、大分詰めたのですけれども、これにつきましては、やはり消火剤を置く場所が外というわけにはいかないということと、ある程度の密閉性があるということで、構造体自体は別で相当直さないとけないということでちょっと実現性が薄いというところで諦めたということがございます。

○庶務課長（高橋文彦君） 議長、庶務課長。

○議長（鈴木勝彦君） 庶務課長。

○庶務課長（高橋文彦君） 予算の措置に関してのご質問がございましたけれども、こちらは昨年復旧工事の予算として、10億3,950万円の予算をまた本年度債務負担ということでやらせていただいておりますが、こちらは全て起債で行うということでさせていただいておりますので、よろしく申し上げます。

今後また何か必要な部分がありましたら、それは補正予算等お願いする部分もあると思いますけれども、この工事、災害復旧の工事に関しては起債で行うということでよろしく申し上げます。

以上です。

○議長（鈴木勝彦君） ほかに。

○4番（新美交陽君） 議長、4番。

○議長（鈴木勝彦君） 4番 新美交陽議員。

○4番（新美交陽君） 今この追加工事ですね。1番から5番まであるのですが、当然最初の原契約の時にはここら辺のところは予測はできたと思うのですが、これが今回出てきたというのはその4月10日の調査を待って、原契約をやるということで原契約には入れてなかったということですか。

○業務局長（杉浦嘉彦君） 議長、業務課長。

○議長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 今回、9,460万円については、調査をしないと分からなかったという建築改修部分でございます。それから、そのほかの再発防止については、当初から分かっていたのではないかとご質問だと思うのですが、まずは、今の現状を復旧するということを第一に考えまして、復旧工事を12月の議決でいただいて、再発防止はその時にも少し説明があったと思うんですけれども、3月議会に再発防止はあとという言い方はあれなんですけれども、決まり次第またお知らせをするということでご説明をさせていただいております。

○4番（新美交陽君） 議長、4番。

○議長（鈴木勝彦君） 4番 新美交陽議員。

○4番（新美交陽君） 要は今の説明ですと、4月の10日が調査をされてその結果に基づいて今度は今回のこの赤色のついた工事について、はっきりしたからこういう形でやるというふうに理解をすればよろしいですか。

○業務局長（杉浦嘉彦君） 議長、業務課長。

○議長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） 調査自体はもう少し結果は前には出ておりましたが、4月早々ぐらいには。それから、3月もそうなんですけれども、再発防止として何ができるかということは平

行して、1月から検討して最終的にまとまったというのが今回参考資料でお示したものでございます。

○4番（新美交陽君） 議長、4番。

○議長（鈴木勝彦君） 4番 新美交陽議員。

○4番（新美交陽君） はい、分かりました。これがこれだけコンベヤの近くに散水設備が60箇所たくさん付いていますので、こういったことを含めて今考えれる最大限の防止策というふうを考えていけばよろしいですか。

○業務局長（杉浦嘉彦君） 議長、業務課長。

○議長（鈴木勝彦君） 業務課長。

○業務課長（杉浦嘉彦君） はい、検討した結果、できることは全て盛り組もうということで、今回提案のほうはさせていただきました。

○議長（鈴木勝彦君） ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦君） ほかに質疑もないようですので、質疑を終結いたします。これより討論に入ります。反対討論を求めます。賛成討論を求めます。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（鈴木勝彦君） 討論もないようですので、討論を終結いたします。

これより議案第3号の採決をいたします。

本案は、原案のとおり決することに賛成の議員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○議長（鈴木勝彦君） 挙手全員であります。よって、議案第3号は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木勝彦君） この際、管理者より発言を求められておりますので、これを許します。

○管理者（吉岡初浩君） 議長、管理者。

○議長（鈴木勝彦君） 管理者。

○管理者（吉岡初浩君） どうもお疲れさまでございました。

私どものほうからご提案させていただきました案件について、慎重にご審議をいただき、原案どおりご決定を賜わりまして、誠にありがとうございました。

今後も、市民の皆様のご負託にこたえるべく、職員一同、努めてまいりますのでご指導のほど、お願い申しまして、お礼の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

○議長（鈴木勝彦君） 以上で、今期臨時会の付議事件は全て終了いたしました。よって、令和

2年第2回衣浦衛生組合議会臨時会は、これにて閉会いたします。

慎重審議、誠にありがとうございました。

(午後1時35分閉会)

以上は、令和2年5月1日に行われた令和2年第2回衣浦衛生組合議会臨時会の会議録であります。

令和2年5月1日

議 長 鈴木勝彦

議 員 小林晃三

議 員 岡田公作